

NEWS Letter



Contents

| | |
|----------------------------|---|
| 三遠南信地域連携研究センター..... | 2 |
| 私立大学研究ブランディング事業 | 3 |
| 2022年度 越境地域政策研究フォーラム | 5 |
| 2022年度 シンポジウム・研究会 | 6 |
| 刊行物 | 8 |
| アクセス..... | 8 |



三遠南信地域連携研究センター



越境地域政策の科学的な確立に向けて

地域政策は、国・県・市町村などの行政区画を単位として立案・実行されます。このため歴史や文化の一体性、或いは広域的な政策需要が存在しても、行政境界を跨ぐ県境地域や国境地域など越境地域での政策立案や実施は容易ではありません。しかし日本国内でも市町村の約4割が県境に接しているなど越境地域政策の必要性は高く、むしろ行政境界を結び目とすることによって、閉塞感を持っている従来の行政制度や政策発想に縛られない地域政策の可能性を持っています。特に、歴史上類を見ない成熟国家の人口減少に立ち向かわねばならない我が国にとって、越境は不可欠な政策的視点であり、地域境界、地域システム、地域主体を越境する「越境地域マネジメント」が重要性を増しています。

愛知大学は、戦前上海にあった東亜同文書院大学を前身として、1946(昭和21)年に愛知県豊橋市に設立された、地域性と国際性の協調を理念とする大学です。三遠南信地域連携研究センターは、特に愛知県・静岡県・長野県の県境地域である三遠南信地域を対象として、様々な地域研究やGIS(地理情報システム)研究を設立以来推進してきました。特に、2013(平成25)年度から2018(平成30)年度まで、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」制度における「越境地域政策研究拠点」として認定され、越境地域政策の科学的な確立を目指して、国内外の130を超える研究機関との共同研究を推進してきました。

こうした実績を背景に、2018年度から、愛知大学として文部科学省私立大学研究ブランディング事業「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」に選定され、その中核研究機関として「越境地域マネジメント」に関する基礎研究、地域と連携した応用研究、教育プログラムの開発を進めています。

◆これまでのセンターの取り組み

| | | | | |
|------------------------------------|----|-----|---|----------------------|
| 平成17年度 文部科学省 私立大学学術研究高度化推進事業 | 採択 | 5年間 | 「グローバルな視点に立った「地域づくり」 トータルシステムの開発」 | 研究代表者: 佐藤元彦 経済学部教授 |
| 平成22年度 文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 | 採択 | 3年間 | 「三遠南信地域における「地域連携型GIS」 の研究」 | 研究代表者: 蔣湧 地域政策学部教授 |
| 平成25年度 文部科学省 共同利用・共同研究拠点 | 認定 | 6年間 | 「越境地域政策研究拠点」 | 研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授 |
| 平成25年度 文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 | 採択 | 3年間 | 「越境地域政策研究拠点」 | 研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授 |
| 平成30年度 文部科学省 私立大学研究ブランディング事業 | 選定 | 3年間 | 「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減 する社会に持続性を生み出す大学」 | 研究代表者: 戸田敏行 地域政策学部教授 |

三遠南信地域とは

「三遠南信地域」とは、愛知県東三河地域の「三」、静岡県遠州地域の「遠」、長野県南信地域の「南信」からなる県境を越えた広域地域です。





私立大学研究ブランディング事業

文部科学省が展開する「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う私立大学の機能強化の促進をめざすものです。

地域の経済・社会、雇用、文化の発展や特定の分野の発展・深化に寄与する取組(タイプA 社会展開型)と、先端的・学際的な研究拠点の整備により、全国的あるいは国際的な経済・社会の発展、科学技術の進展に寄与する取組(タイプB 世界展開型)の2種にて募集されました。

2018年度は157校から申請があり、学識経験者等で構成する「私立大学研究ブランディング事業委員会」において、実施体制及び事業内容・計画を総合的に審査され、計20校(タイプA: 11件、タイプB: 9件)が選定されました。

愛知大学の選定事業

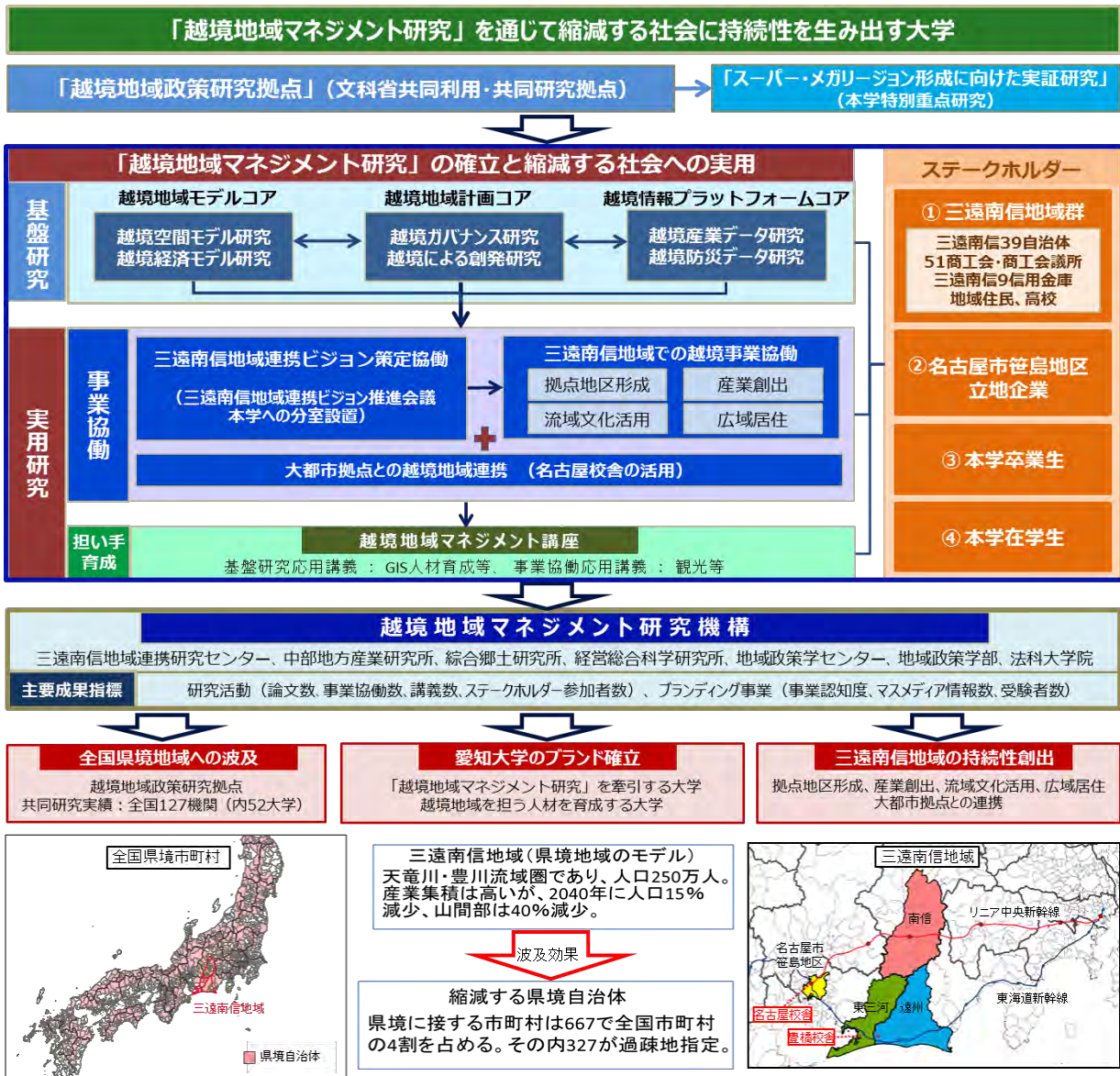
「『越境地域マネジメント研究』を通じて縮減する社会に持続性を生み出す大学」

参画組織＝三遠南信地域連携研究センター、中部地方産業研究所、総合郷土研究所、経営総合科学研究所、地域政策学センター、地域政策学部、大学院法務研究科法務専攻(法科大学院)

※事業タイプ＝「社会展開型」(タイプA) 期間＝3年

事業の概要

我が国の地方部は急速な人口減少により、縮減する社会に直面しています。民力が卓越した大都市部と異なって、地方部では行政境界が地域経営の障害となり、縮減する社会を支える地域連携が取り難いといえます。特に県境地域はその傾向が著しいです。本事業では、愛知・静岡・長野の県境地域を対象とした「越境地域マネジメント研究」を本学に拠点化し、その実用によって縮減する社会に持続性を生み出すとともに、全国県境地域への波及効果を目指します。





研究の意義

本学は、1901年中国上海に創設された東亜同文書院大学の関係者を中心に1946年に中部地域唯一の法文系大学として、愛知県豊橋市に設立されました。設立趣意書には、東亜同文書院を背景とした《国際的教養と視野をもった人材の育成》とともに、6大都市以外の地方都市に初めて立地した旧制大学として《地域社会への貢献》を挙げています。

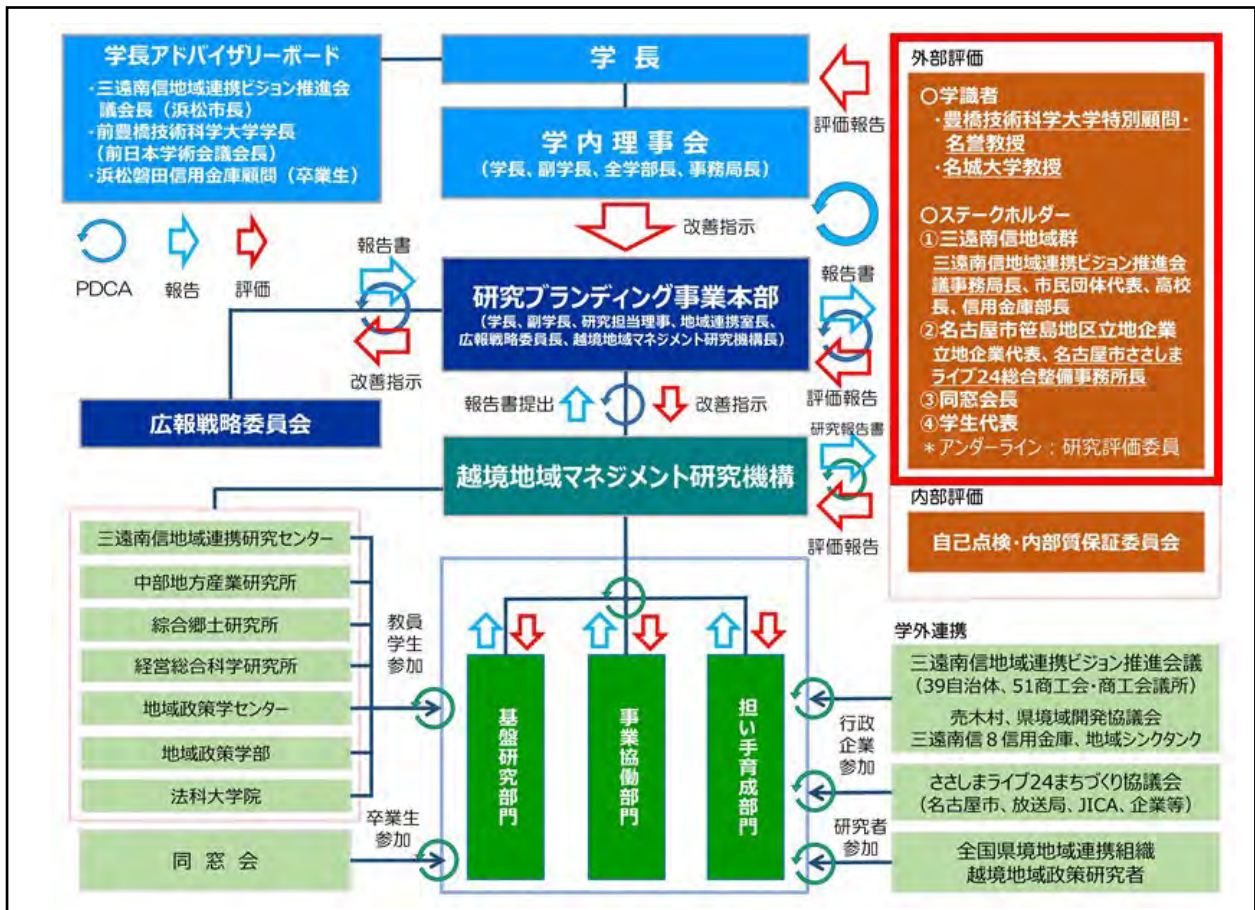
本学発祥の地である豊橋校舎では、《地域社会への貢献》を地域研究に展開する視点から、1951年には「総合郷土研究所」、1953年には「中部地方産業研究所」を設置しました。その後、豊橋校舎が立地する豊橋市の広域連携が進み、豊橋市を中心とする愛知県東三河地域、浜松市を中心とする静岡県遠州地域、飯田市を中心とする長野県南信地域からなる「三遠南信地域」に後背地域が拡大してきました。こうした動向に対応して、本学は地域研究の対象を三遠南信地域に定めた「三遠南信地域連携研究センター」を2004年に設立し、「文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業・社会連携研究推進事業(2005-2009年)」、「文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業・地域に根差した研究(2010-2012年)」を実施してきました。更に2013年からは「文部科学省共同利用・共同研究拠点」の「越境地域政策研究拠点(2013-2018年)」に認定され、「越境地域政策」の確立を目指した全国的な研究を進めました。また、2011年には、三遠南信地域を研究・教育のフィールドとする「地域政策学部」を設立し、地域政策を担う人材の育成に展開してきました。

本学は、2012年に名古屋校舎を名古屋駅に隣接した大都市拠点「名古屋市ささしま地区」に移転開校しました。ささしま地区は、2027年の中央リニア新幹線開通によって三大都市圏が一体化されるスーパー・メガリージョンの一角であり、広域的な拠点性を有しています。こうした拠点性を活かすには、ささしま地区と広域の後背地域を結ぶ越境地域連携が不可欠です。特に、三遠南信地域とささしま地区の間に多様な越境地域連携を形作ることによって、三遠南信地域が直面する縮減する社会に、大都市拠点と連携したダイナミズムを生み出すことは、三遠南信地域とささしま地区に校舎を持つ本学の新たな《地域社会への貢献》です。

期待される成果

「越境地域政策研究拠点」として取り組んできた既往の「越境地域政策研究」(基盤研究)の更なる強化を図るとともに、「越境地域マネジメント研究」として縮減する社会に実用するためには、分散する地域機能の拠点地区化とネットワーク、モデル的に応用できる越境連携事業、越境連携事業を支え得る人材が必要です。そこで、実用研究として、三遠南信地域の諸機関との越境連携事業協働、越境地域マネジメントの担い手人材育成を行ないます。これらによって縮減する三遠南信地域に持続性を生み出すとともに、全国の県境地域や海外の越境地域への波及効果を期待します。

事業体制図



2022年度 越境地域政策研究フォーラム



2023年2月11日(土)、第10回越境地域政策研究フォーラムをオンライン開催いたしました。

午前の部前半では、東京大学大学院工学系研究科准教授 瀬田史彦氏をお招きし、「国土計画の可能性と越境地域計画」の題目で基調講演をいただきました。続いて視聴者より寄せられた質問にお答えするなど、活発な議論が行われました。

また、午前の部後半では越境地域政策報告として、三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)事務局長 河野和世氏より三遠南信地域について、上越市創造行政研究所副所長 内海巖氏より上越地域について、当センター研究員鈴木伴季より全国越境地域調査速報が発表されました。

午後は研究発表会として、分科会1「計画行政コア:越境地域計画の実践(コーディネーター:愛知大学地域政策学部教授 菊地裕幸、コメンテーター:愛知大学地域政策学部教授 戸田敏行)」、分科会2「地域システムコア:まちなか賑わいの記録・創出(コーディネーター:愛知大学地域政策学部教授 蔣湧)」の2つのテーマによる分科会で、8タイトルの研究発表と質疑応答が行われました。 ※フォーラムの内容は、本センター紀要第9号に掲載

本センターは、2013年度より文部科学省共同利用・共同研究拠点の「越境地域政策研究拠点」、2018年度より文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」の採択を受けることによって、越境地域政策研究の基礎的研究、社会的実用研究を促進するとともに、研究成果の全国への波及を目指してまいりました。こうした研究の交流の場として、越境地域政策研究フォーラムを毎年開催しております。あらゆる境界を越えようとする、越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2023年2月11日(土) 10:00~ オンライン開催

10:00~12:00 午前の部

あいさつ 川井 伸一(愛知大学学長)
 趣旨説明 戸田 敏行(愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)
■ 基調講演 「国土計画の可能性と越境地域計画」
 瀬田 史彦氏(東京大学 大学院工学系研究科准教授)

■ 越境地域政策報告

- 1.三遠南信地域: 三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)事務局長 河野和世氏
- 2.上越地域: 上越市創造行政研究所副所長 内海巖氏
- 3.全国越境地域調査速報: 愛知大学三遠南信地域連携研究センター研究員 鈴木伴季

13:30~17:40 午後の部

計画行政コア:越境地域計画の実践(13:30~)

- ◇コーディネーター: 菊地裕幸(愛知大学地域政策学部教授)
 ◇コメンテーター: 戸田敏行(愛知大学地域政策学部教授)
- 分科会 1**
- 【越境的地域づくり】
 ・三遠南信中山間地域における取り組み: 岩崎正弥(愛知大学地域政策学部教授)
 ・秦嶋久好(愛知大学三遠南信地域連携研究センター主任研究員)
- ・転機の整備新幹線をめぐる越境連携の論点整理: 榑素夫氏(青森大学)
- 【可動機能と地域】
 ・可動インフラの試み: 熊瀧潤也氏(スズキ株式会社次世代モビリティサービス本部)
- ・移動体験型観光による地域資源の越境連携-東三河レストランプスの事例-
 : 高橋大輔氏(公益社団法人東三河地域研究センター)

地域システムコア:まちなか賑わいの記録・創出(15:40~)

- ◇コーディネーター: 蔣湧(愛知大学地域政策学部教授)
- 分科会 2**
- ・京都祇園祭デジタル・ミュージアムの構築と活用: 佐藤弘隆(愛知大学地域政策学部助教)
- ・豊橋まちなかにおけるイベントの開催状況とその影響: 駒木伸比古(愛知大学地域政策学部教授)
- ・豊橋鬼祭アプリおにどこと応用事例: 大村廉氏(豊橋技術科学大学)
- ・景観写真のデジタルアーカイブの構築と地域学習への応用: 高橋彰氏(大阪大学サイバーメディアセンター)

参加申込み

右のQRコードを読み取ると、下記URLの三遠南信センターHP内、フォーラム案内ページに移動します。ページ内からオンライン参加の登録をしてお参加ください。

<http://edu.aichi-u.ac.jp/san-en/info/1100>

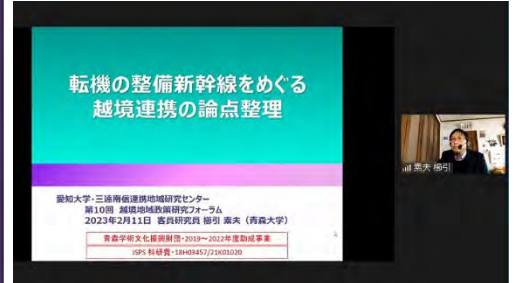


愛知大学
 私立大学研究ブランディング事業
第10回 越境地域政策研究フォーラム
 (2022年度)
 愛知大学三遠南信地域連携研究センター

◆お問い合わせ先
 愛知大学
 三遠南信地域連携研究センター
 〒441-8522
 愛知県豊橋市町畑町1-1
 TEL:0632-47-4157
 FAX:0632-47-4576
 E-mail:
 sen-center@aichi-u.ac.jp



基調講演 瀬田史彦氏
 東京大学大学院工学系研究科准教授



2022年度 シンポジウム・研究会

越境地域政策講演会

「デジタル田園都市国家構想」とこれからの地方創生

<日時> 2022年5月21日(土) 13:30~15:00

<開催方式> Zoom(ウェビナー)によるオンライン

[豊橋駅前emCAMPUS(エムキャンパス)からライブ配信]

<講師> 内閣府地方創生推進事務局内閣審議官
内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議
事務局次長 黒田昌義 氏



講師 黒田昌義 氏



講演会の様子

※講演の内容は、本センター紀要第9号に掲載

第7回全国軽トラ市シンポジウム(共催)

「軽トラ市の未来」

<主催> 第7回全国軽トラ市in長野しののい実行委員会
篠ノ井商店会連合会

<日時> 2022年10月15日(土) 15:00~17:00

<会場> 篠ノ井交流センター

○コーディネーター

愛知大学三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行

○パネラー

・栗石軽トラ市実行委員長(岩手県栗石町) 相澤潤一 氏

・TMOまちづくりトロント代表(宮崎県川南町)

宮崎吉敏 氏

・しんしろ軽トラ市のんほいロット実行委員会

ワーキングリーダー(愛知県新城市) 森 一洋 氏

- ・日本自動車工業会軽自動車委員会副委員長
(スズキ(株)代表取締役社長) 鈴木俊宏 氏
- ・日本自動車工業会 軽自動車委員会委員
(ダイハツ工業(株)取締役) 武田祐介 氏
- ・しののい軽トラ市初代実行委員長(長野県長野市)

酒井春人 氏



会場の様子

※シンポジウムの内容は、本センター紀要第9号に掲載

アシタシアサロン

境を越えて、明日をつくる。

ASiTASiA

愛知大学 越境地域マネジメント事業 / アシタシア

本学の私立大学研究ブランディング事業の中心テーマである『越境地域マネジメント研究』は、地域と地域、しくみとしくみ、人と人をつないで、持続可能な社会の形成を目指すものであり、豊橋校舎が立地する三遠南信地域と共に、名古屋校舎が立地するささしま地区も、その拠点地区として位置づけられています。アシタシアは、ささしま地区に人々の出会い、発見の場を創出し、さまざまな境を越えていくことで、日本社会の明日、未来をつくることを目指すプロジェクトです。



アシタシアコンセプト図

2022年度 シンポジウム・研究会

第8回アシアサロン

「時代を越境する世界初の国際的ビジネススクール
東亜同文書院大学から愛知大学へ」

<日時> 2022年7月8日(金) 18:00~20:00

<会場> 愛知大学名古屋校舎 グローバルコンベンションホール
(ウェブ配信)

<プログラム>

- ◆開会挨拶: 愛知大学学長 川井伸一
- ◆趣旨説明: 愛知大学三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行
- ◆講演: 愛知大学名誉教授 藤田佳久



講師 藤田佳久

※講演は、愛知大学公式YouTubeにて配信中

第9回アシアサロン

「大学の未来像と地域社会 —越境する主体としての大学—」

<日時> 2023年3月2日(木) 18:00~20:00

<会場> 愛知大学名古屋校舎 グローバルコンベンションホール
(ウェブ配信)

<プログラム>

- ◆開会挨拶: 愛知大学学長 川井伸一
- ◆趣旨説明: 愛知大学三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行
- ◆講演: 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授 吉見俊哉 氏



講師 吉見俊哉 氏

※講演は、愛知大学公式YouTubeにて配信中

ささしまトークライブ

従来のアシアサロンに加えて、より幅の広い世代への対応、ささしま地区企業との連携、まちづくりへの大学貢献等を目的として、新たに企画開催するものです。従来の愛知大学グローバルコンベンションホールから、グローバルゲートのカフェ等に場所を移し、カジュアルで創造的な雰囲気の中なかで、新しく、話題性のあるテーマのトークを繰り広げます。

第1回ささしまトークライブ ほろよいゼミナール

「地域学者がしびれるROCK」

<日時> 2022年12月2日(金) 18:00~19:30

<会場> 豊川堂グローバルゲート店カフェダイニング

○登壇者

- ・愛知大学法学部教授 西本昌司
- ・愛知大学経営学部教授 古川邦之
- ・(株)豊川堂代表取締役社長 高須大輔 氏



西本昌司

古川邦之



高須大輔 氏



会場の様子

■刊行物

『愛知大学
三遠南信地域連携研究センター
紀要 第8号』

| 巻頭言 | 1 |
|---------------------------------------|----|
| ◆第3回三遠南信地域連携研究フォーラム | |
| 【座談会】シニアプログラムの発展、研究開発等 | 5 |
| ◆美濃源「リニア」三遠南信時代における飛騨市のまちづくり | 9 |
| ◆分科会「地域と多機能性」 | 27 |
| ◆分科会2「施設と地域マネジメント」 | 36 |
| ◆豊田大学都市計画学「スーパー・メガロポリス形成に関する学際的研究」 | 53 |
| ◆フジクラキーン | 55 |
| 【専門別号掲載】 | |
| 1. 三遠南信専門号 | 55 |
| (1) 都市計画シニア | 55 |
| (2) 施設システムコア | 69 |
| (3) 「リニア中央新幹線整備に伴う東海道新幹線利用意向調査報告書」の発行 | 67 |
| (4) 「愛知大学卒業生アンケート調査報告書」の発行 | 68 |
| 2. 学芸誌「学芸」 | 69 |
| (1) 池水社学芸 | 69 |
| (2) 豊橋まちなかにおけるエリアマネジメント | 70 |
| (3) 軽トラ市に関する調査研究とネットワーク形成 | 72 |
| (4) ささしまはらエリアマネジメント事業 | 73 |
| 3. 学芸誌「学芸」 | 73 |
| (1) 施設環境マネジメント連携 | 76 |
| ① 学芸誌「学芸」掲載（三遠南信） | 76 |
| ② 学芸誌「学芸」掲載（施設環境マネジメント） | 78 |
| (2) GISを用いた地域研究プロセスの発展 | 80 |
| 【その他センター活動記録】 | |
| ◆研究発表・研究会・会議等記録 | 83 |
| ◆発行目録 | 84 |
| ◆運営体制 | 88 |

■調査報告書・パンフレット

『リニア中央新幹線整備に伴う
東海道新幹線利用意向調査
報告書』



『日本の地方創生モデル
【軽トラ市】-可動商店街-
パンフレット』



■愛知大学豊橋キャンパスまでのアクセス



■愛知大学豊橋キャンパスマップ



■お問い合わせ先

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1
TEL 0532-47-4157 FAX 0532-47-4576
URL <http://edu.aichi-u.ac.jp/san-en/>